

2021年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース											
楽器レッスン3											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	鳥居隼/朽津真一			実務経験	有	職種	音楽家				
授業概要											
コードしっかりと理解すると同時に、コードを追ってプレイできるようになる。弾き語りやバンドギター、エレキ、アコギ等、それぞれが目標とするものを明確にし、それに沿った技術を習得する。また一人でギターをDTMでの打ち込みが出来るようになることを目標にする											
到達目標											
基本的なコードを覚え、押えられるようにする。オリジナル、カバー問わず、自分で選曲した曲を弾けるようになる。シンガーソングライター希望の学生は自身でコード付けした曲を自分で演奏できるようになる。また、曲の構成を理解し、Aメロ、Bメロ、サビ等それぞれのセクションに沿った伴奏(演奏)を出来るようになる。間奏ソロのメロも出来るだけ自身で考えてプレイできるようにする。											
授業方法											
音楽知識レベル、演奏スタイルによってグループに分かれ、自身が選択した曲の譜面、またはあらかじめ配布された楽譜を予習してくる。コードを読み取って、ある程度弾ける状態でレッスンに臨む。											
成績評価方法											
試験・課題 70% 課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価 成果発表 20% 授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価 平常点 10% 積極的な姿勢											
履修上の注意											
個人差が大きい為、レベル別でのグループレッソンを行う。また、弾き語りやバンドギター等、目標に応じた内容のレッスンを個別に行っていく。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	初心者にはギターの構え方、中級からは楽曲を選び、レッスンへ入る										
第2回	響きに意識をもって演奏を行う										
第3回	弾き語りの実践に入る 楽器の位置など確認する										
第4回	オリジナル、カバー問わず、弾き語りの実践を行う										
第5回	グループで動画を撮影し、自身の演奏スタイル等、客観的に確認する										
第6回	音の響きを決め、押え方を自身で考える										

2021年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース	
楽器レッスン3	
第7回	テンションを含むコードを実際にならしてみる
第8回	既存曲の3和音を全てテンションを入れて実践してみる
第9回	弾き語りで授業内での発表を行う
第10回	自分の曲にあった奏法を今一度確認する
第11回	レベル別に弾き語りのミニライブを行う
第12回	リズムが揺れていないか、一定のテンポキープできているかの確認
第13回	再度、響きも考えながら運指の確認をする。(なるべくテンションを使用)
第14回	発表会に向けてブラッシュアップを行う
第15回	発表会